

# 謹賀新年

令和4年 壬寅之歳



(昨年11月7日、御本宮参拝時の富士山)

新年明けましておめでと  
うございます。  
令和四年、皇紀二千六百  
八十二年、壬寅の歳を迎え  
ました。

教信徒皆様、ご参拝の皆  
様それぞれに大神様、ご教  
祖様、各家ご祖先様のご守  
護を受けられ健やかな新年  
を迎えられました事と心よ  
りお慶び申し上げます。

又、旧年中には私ども権  
現家、加えて教会職員にも  
様々にお心遣い賜り厚く御  
礼申し上げます。

さて、少し昨年を振り返  
ってみましょう。

一昨年より続いているコ  
ロナ禍の猛威は中々治らな  
い緊急事態宣言の再発令など  
世の中に暗い影を今なお、  
落しています。しかし、夏  
の終わりから秋口にかけて  
日本の感染者数は大きく減



発行所  
宗教 寶生教大阪本部  
大阪府西淀川区北堀江3丁目10番  
電話 06(6531)6722  
FAX 06(6531)6152  
© (非売品)

1月号

自家成立の  
根源は和にあり  
秩序の根源は  
神祖崇敬より

## 『年頭の辞』

教主 山本晃道



教主・大阪本部長様

新年明けましておめでと  
うございます。  
令和四年、皇紀二千六百  
八十二年、壬寅の歳を迎え  
ました。

教信徒皆様、ご参拝の皆  
様それぞれに大神様、ご教  
祖様、各家ご祖先様のご守  
護を受けられ健やかな新年  
を迎えられました事と心よ  
りお慶び申し上げます。

又、旧年中には私ども権  
現家、加えて教会職員にも  
様々にお心遣い賜り厚く御  
礼申し上げます。

さて、少し昨年を振り返  
ってみましょう。

一昨年より続いているコ  
ロナ禍の猛威は中々治らな  
い緊急事態宣言の再発令など  
世の中に暗い影を今なお、  
落しています。しかし、夏  
の終わりから秋口にかけて  
日本の感染者数は大きく減

の、答えは一つなのだが、  
予断は許さない。  
日本は、最悪の事態をも  
想定して準備を怠ってはな  
らない。それが八十年前の  
教訓を活かす道である。」  
日本という国家を愛し、  
守るために、国民一人一人  
が正しい歴史を知り、正確  
に伝えていかなければなら  
ません。

以前も申し上げたように、  
国の歴史を知ることが、国  
を愛することに繋がります。  
同時に、報道に惑わされ  
ない知識を身につけ、現状  
を見極める力も必要です。  
その力を授けてくださるの  
が、教会の修行の目的の一  
つでもあります。

学校では学ばない正しい  
歴史を次の世代に伝え、情  
勢を見極める力を身につけ  
、国を守る気概をもつこ  
とが大切かと存じます。

解散総選挙が行われ、岸田  
内閣が発足しました。スポ  
ーツ界では、一年遅れて開  
催された東京オリンピック  
での日本選手団の活躍、プ  
ロスポーツ界でも日本人選  
手が世界最高峰と呼ばれる  
舞台で目ざましい活躍を見  
せたのは皆様の記憶にも新  
しい事でしょう。

一方で私どもの寶生教で  
はコロナ禍続く中であって  
も本部、支部、各敬和会共  
に各神事祭典、行事がほぼ  
滞りなく執り行いましたの  
は大神様、ご教祖様のご守  
護は申すまでもなく、教信  
徒、ご参拝の皆様への信仰  
に対する熱意と理解の賜物と  
深く感謝致しております。

さて、前出の様に昨年令  
和三年は様々な事象の節目  
の年でもありましたし、コ  
ロナ禍の影響で大きく世の  
中の価値観が変わってしま  
った様に感じられます。

しかし、世の中がどれほ  
ど変わろうと、使う道具が  
便利になろうと決して変え

てはいけないものござい  
ます。  
それは私達の人としての  
本質、日本人としての本質  
です。  
そう云った大切な本質を  
守るために神道があり、私  
達の寶生教の信仰があるの  
です。

本年、令和四年は私ども  
寶生教にとっては大きな節  
目の年を迎えます。立教百  
十年の佳節です。又、私ど  
も大阪本部では先代教父  
母、倭護国真道翁之命の二  
十年祭、節子刀自之命の十  
五年祭を迎えます。

どちらもが大切な節目で  
ございます。

今年、壬寅の歳は「陽氣  
を孕み、春の胎動を助く」  
という意味の年だと云われ  
ます。冬の時期が厳しいほ  
ど春の芽吹きは生命力に溢  
れる事でしょう。

この令和四年、共に更  
に信仰に励み大神様、ご教  
祖様、各家ご祖先様方のご  
守護を受け各家が心豊かで  
安心した生活が送れる様、  
又各氏名がより発展なさい  
ます様に、加えて、私ども  
の信仰がより良い日本国家  
の建設と世界の平和に寄与  
できます様、心より祈念申  
し上げ新年のあいさつと致  
します。

## 節分厄除祈願祭(豆まき神事)

二月三日(木)午後七時開祭

## 厄除け祈願 申込み受付

よからぬことが多いと言  
われる、人生の節目である  
厄年。厄除祈願をなさって  
御神幣の御神威を身体にお  
受けになり、災難なき安心  
した日々をお過ごし下さい。  
※厄除け祈願申込みは、一  
月二十五日まで、申込  
幣帛料(壹万円)を添えて、  
教会事務所へどうぞ。

※厄年(数え年)  
男性  
四十三歳(昭五十五年生)  
四十二歳(昭五十六年生)  
四十一歳(昭五十七年生)  
二十五歳(平十年生)  
女性  
三十三歳(平二十二年生)  
十九歳(平十六年生)

## 『建国記念祭』 二月十一日(祝) 午前十時

一日本国と皇室の安泰を祈りましょう

祝祭日には必ず国旗を掲揚しましょう



奉納 受付

## 身体健固 無病息災 祈願

教会所定の「人形」に各  
自の氏名年齢を記し、身体  
健固、無病息災の祈念をこ  
めて、各自の息を吹きかけ  
て、二月三日の節分祭まで  
に教会へ納めて下さい。  
また、昨年度の月並運勢  
の御神幣も一緒に納めて下  
さい。教会で焼燭招福祈願  
いたします。

## 教会行事

一月 一日(祝)	元旦祭	午前十一時
二日(日)	御本宮初月並祭	午前十一時半
三日(月)	御本宮遙拝式	午前九時
八日(土)	支部新春来参式	午前十一時
初修行	午前十一時、午後七時	
○修行後、健康祈願の「おぜんざい」を戴きます。		
九日(日)	初教祖祭	午前十時
十日(祝)	青年部初顔合せ	
西播教会初修行日		
とんど焼		
十五日(土)	初月並祭	午後七時
十六日(日)	養老教会初修行日	
二十三(日)	故教父二十年 慰霊祭	午前十一時
故教母十五年	慰霊祭	午前十一時
○故ご夫妻の功績を称え、感謝のご慰霊を、教信徒一同揃って、致します。		
二五日(火)	修行日	午前十一時、午後七時
二六日(水)	宝生会(美奈木G.C)	
二九日(土)	和歌山地区敬和会	
三十日(日)	大阪近郊各地区合同敬和会	
名古屋地区敬和会		
二月 一日(火)	月並祭	午後七時
三日(木)	節分厄除祈願祭	午後七時
○厄除祈願祭に引続き、節分・豆まき神事が行なわれます。		
○撤饌として福豆を授けたいします。各家の災難、病難除け等としてのご守護がございます。		
六日(日)	御本宮月並祭	午前十一時半
御本宮遙拝式	午前九時	
八日(火)	修行日	午前十一時、午後七時
九日(水)	修行日	午前十一時
教祖祭	午後七時	

寶生教 国旗掲揚運動

### 話教 雅楽部の存在に誇りをもち、是非、ご奉仕にご参加を。

祭並 月 (11月15日)

先日十一月十二日、本部雅楽部が、大阪市西区の、西区地域女性団体協議会、七十周年記念式典の中で、舞楽「蘭陵王」を披露致しました。

教会でも婦人会の皆様に変えて尽力いただき、なくてはならない存在であるように、地域にとっても女性会は大変影響力があります。

そのような女性会の七十周年という立派な式典で、当雅楽部が演奏を披露できましたこと、大変嬉しく感じております。

振り返りますと、雅楽部は故真道大権現職が、雅楽の生演奏を大神様へのお供えにしたいとお考えで、昭和二十三年に創設されました。

以来、故松田先生ご夫妻の指導を頂き、現在は副本部長の指導の下、各祭典に於いて奉仕致しております。

独自の雅楽部がある神社などの宗教団体は、別格の大きな神社などを除いて、そうそう多くございません。この度は、そのような立派な雅楽部があるというところを、地域の皆様知って

いただく機会になりました。地域の皆様にとっては大変珍しい音楽でもありません。皆様が教会の大祭で奉納する舞楽をご覧になることができるのは、大変ありがたいことなのです。

### 話教 『會』は食を共にする人の集まり

祭並 月 (12月1日)

本日、愛子内親王殿下が二十歳のお誕生日を迎えられ、今後は成年皇族として様々な公務をお務めになるということで、我々国民にとりまして大きな慶びであります。

皇室の安泰と愛子さまのご活躍を心より祈り申し上げます。祝、今年も十二月「師走」に入りまして、残すところ一ヶ月を切りました。今年もコロナに始まりコロナに終わる一年で、未だ新型株なんかも発見されているようです。

年が明けてもそれぞれに油断なことをなく、できる限りの対策を施し、健康を保つ努力をされ、何より大神様のご守護を頂いてお互いに良い年を迎えたい

と説いております。今を生き延びること、又健康こそが何よりの宝であり、健康でなければ大神様、ご祖先にお仕えることも

できません。お互いに健康を保つ努力をし、令和四年も素晴らしい年となりますよう願っております。

ここが、雅楽という日本の伝統文化の水準の高さではないかと存じます。この伝統文化を守り続け、伝えることが、非常に重要なことなのです。

教信徒の皆様も、教会が独自の雅楽部をもつことを誇りにもち、是非、共々にご奉仕いただければと存じます。

「會」は信仰の道、教えを学ぶ人の集まり、という意味なのです。

コロナ禍以降「会食」という言葉をこれまで以上によく目にします。まさに人が集まって共に食事をするという意味ですが、先程申し上げた危惧すべき点とは、この食事に伴うことなのです。

飲食店では「マスク会食」が一つのルールになっておりますし、小学校や幼稚園などの給食の時間も、子供達は一言もしゃべってはいけないというところが少なくありません。

「同時に英米蘭への宣戦布告は長く続いた白人によるアジアの植民地支配に終止符を打つ歴史的転換点となったのは疑いようがない。『世界は一新せられた。時代はたった今大きく区切られた。昨日は遠い昔のようである。現在そのものは高められ確然たる軌道に乗り、純一深遠な意味を帯び、光を放し、いくらでもゆけるものとなった』と詩人・高村光太郎が謳いあげたように。」

をとることが非常に大切なことではないでしょうか。人が集まるとい意味の「會」という漢字を見てわかるように、共に食事をすることが人と人との絆を深めるということであり、古来、一種の契約なのです。

このことは神話からも見て取れます。伊邪那冉之尊が火の神様をお産みになり、黄泉の国(あの世)へと旅立たれます。

ご主人の伊邪諾冉之尊は奥様に会いに黄泉の国へ向かい、亡骸を前に奥様の御霊に對し「我々の国造りは未だ終わっていないから、元の国に戻ってきてほしい」と言葉を掛けられます。

奥様は「私は既に黄泉の国の食べ物をお口にしましたので、元の国に戻ることにはできません」と返答される件があるのです。

神話の時代から、その場所の食べ物をお口にすること、共に食事をするとということが一種の契約であり、家族として見なされるということが語られています。

現代でも変わらず、心を開いて共に飲み食いすること、心が通じ、わかり合える。食事をすることは、それほど特別な意味があることなのです。

食事とコロナの関係は、健康面でも重要です。教父が常々おっしゃっているように、特に朝食、ついつい手を抜いてしまいがちですが、毎朝、栄養のバランスを考え、食事をすることが、健康な体を作り、コロナに打ち勝つ体を作るのです。

ある重篤な方の手配に次のような言葉がありました。「私は今、病院のベッドの上で寝ています。重い病気がかかっています。重い死ぬのが、怖いのです。私は、生きたいのです。」

私もつもらない人生を送ってきました。でも、そのつまらない人生に最後までしがみつきたくなるくらい、生きることは素晴らしいことだ。

まだまだやりたいことがあるけれど、そのためには健康が大事だということ。今あらためて感じました。私はずっと夢を叶えることができたから自分の人生が輝くと思っていました。

でも間違っていました。健康であること、生きることにそのものが輝きました。

### 話教 正しい歴史を伝え、国を守る気概を。

祭祖 月 (12月9日)

あなたは今生きている。そのことが、私にはとてもまぶしいのです。私共の養生教は、「生きる」ことが寶なり

昨日、十二月八日は真珠湾攻撃から丁度、八十年の節目の日でありました。この日の産経新聞に、論説委員長の乾正人氏が「真珠湾攻撃八十年 あの日と今日は地続きにある」という記事を投稿しておられましたのでご紹介致します。

「あの日」の東京の空は、限りなく青かった。「いよいよよはじまったかと思つた。何故か體ががくがく慄へた。ばんざあいと大聲で叫びながら駆け出したいやうな衝動も受けた」

「こん狐」で知られる児童文学者の新美南吉は、昭和十六年十二月八日の興奮をこう綴つた。

日本人のほとんどは、海軍航空隊が真珠湾攻撃であげた「戦艦二隻撃沈、四隻大破。大型巡洋艦四隻大破」(当日の大本営発表)という未曾有の大戦果に沸き立

「こういう事にならぬよ」

うに僕達が努力しなかったのが悪かつた」とつぶやいたジャーナリスト・清沢潤子のような人は例外だつた。戦時中を扱ったNHK朝の連続テレビ小説でヒロインが、ラジオから流れる開戦のニュースを聞いて悲愴な顔をしていたら、脚本家や演出家が歴史を知らないか、意図的に史実を改竄したと思つて間違いない。昭和十二年から始まつた日中戦争が泥沼化する中、日本政府は、対米戦争を回避しようとして外交交渉に望みを託した。



80年前の12月8日、当時の状況を打破せんと、真珠湾攻撃により開戦となる。

だが、日本軍の中国撤兵をめぐる交渉は暗礁に乗り上げた。石油輸出禁止など米国の対日経済制裁は苛烈を極め、国民生活はみるみる窮乏化した。こうした中で真珠湾攻撃は、『妖雲を排して天日』(作家・島木健作)を仰ぐ(作家・島木健作)出来事だつたのだ。当時の日本人は、日本が

戦争に負けるはずがないとほとんどの人が思つておりました。ですから、開戦の合図である真珠湾攻撃の報道に、国民はよくやつたとエールを送つたのです。

開戦時、明るいムードだつたのには理由がありました。記事にありましたように、開戦前より様々な経済制裁を受け、日本国民は大変つらい思いをしておりました。その状況を打破したのが、真珠湾攻撃による開戦だつたのです。

しかし、真珠湾攻撃は、米国の思惑通りだつたのです。当時の米大統領は、敢えて日本に先に手を出させ、世界戦争を開戦させたかった。日本は真珠湾攻撃が成功したと思ひ込んでおりましたが、すべて米国の作戦通りに進んでいたのです。

この真珠湾攻撃の指示を出したのが山本五十六という司令官でした。しかし、彼は対米戦には最後まで反

対しておりました。山本五十六は米国に留学経験があります。そこで、米国の国力を目にし、米國と戦争しても勝つことはできないと思つていたので。

「同時に英米蘭への宣戦布告は長く続いた白人によるアジアの植民地支配に終止符を打つ歴史的転換点となったのは疑いようがない。『世界は一新せられた。時代はたった今大きく区切られた。昨日は遠い昔のようである。現在そのものは高められ確然たる軌道に乗り、純一深遠な意味を帯び、光を放し、いくらでもゆけるものとなった』と詩人・高村光太郎が謳いあげたように。」

アジアの植民地支配からの解放は、まさに日本のおかげでした。このことは、例えばインド政府も「インドがイギリスから独立できたのは日本の真珠湾攻撃を、『だまし討ち』したわけではありませぬ。宣戦布告し、手順を追って攻撃したのです。が、米大統領は国民に「だまし討ち」と伝え、反日感情を煽ることに成功したのです。

たのは日本のおかげだ」と発表しております。日本がその役割を果たすことができた要因は、もう少し歴史を遡るとあります。実はその要因とは、日露戦争に勝つたことなのです。この戦勝が、日本を世界に認められる唯一のアジアの国にしたのです。

「もちろん、光がまばゆければまばゆいほど、闇もまた深い。『だまし討ち』とつた米国民の怒りは凄まじく、その結末を八十年後の我々は、誰もが知っている。終戦をもつて、きれいなツボンとおさらばした、と思ひ込んでいたのはおめでたい日本人だけである。戦後七十六年を経ても米軍が沖縄のみならず、首都圏に巨大な空軍基地と軍港、司令部を保持し続けているのも、真珠湾攻撃が米國に与えた衝撃が起点となっている。」

日本は真珠湾攻撃を、「だまし討ち」したわけではありませぬ。宣戦布告し、手順を追って攻撃したのです。が、米大統領は国民に「だまし討ち」と伝え、反日感情を煽ることに成功したのです。米國はそこまで計算済み

でした。その証拠に、戦後ニューヨークタイムズ社がとつたアンケートでは、約八割以上の米國民が、「日本国民なんて抹殺してしまえばいい」と回答するほど、当時の日本人を憎んでいたそうなのです。

「中国や韓国、北朝鮮が戦後、ほぼ一貫して、ありもしない日本の『軍国主義化』を攻撃し、『反日教育』にいそしんできたのも同じ。

昭和十六年十二月八日と今日という日は地続きにある。八十年前と違うのは、米國の覇権に挑戦しているのが、大日本帝國から中華人民共和國にとって代わつたことである。

異論があるのは百も承知しているが、戦時中に日本が掲げた『大東亜共栄圏』と中国の唱える『一带一路』とは外形上、異様なまでに相似形をなしている。

昭和十八年十一月、東京で東条英機首相が主宰してアジア各国の首脳らが集つた大東亜會議が開かれ、大東亜共同宣言が採択された。宣言では、相互扶助によつてアジア各国の共存共栄を図ることを基本に、経済発展によつてアジアの繁栄を増進すると明言した。

かたや中国の習近平國家主席は、『一带一路』につ